

～ハンセン病について正しく知っていただくために～



オンライン講演会

「ハンセン病問題を知っていますか」

「ハンセン病療養所入所者等に対する補償金の支給等に関する法律」の施行日である6月22日は「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」とされ、国や都道府県等で、ハンセン病についての歴史や経緯、差別解消の取組等を知っていただくための行事を行っています。



全生病院の収容門
全生病院（現 多磨全生園）大正期



園内通用券 多磨全生園



ハンセン病家族訴訟の熊本地裁前での
勝訴発表 2019（令和元）年

（資料提供：国立ハンセン病資料館）

オンライン講演会「ハンセン病問題を知っていますか」

- 配信期間：令和7年6月12日(木曜日)から12月26日(金曜日)まで
- 内 容：裏面をご覧ください。📺 動画5本に分けて解説します。
- 講 師：国立ハンセン病資料館事業部社会啓発課 学芸員 金 貴粉 氏
- 視聴方法：東京都健康安全研究センターホームページのリンクから視聴できます。

※ご視聴に係る通信費は、視聴者様のご負担となります。

【東京都健康安全研究センターホームページ（ハンセン病）】

<https://www.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/center/gyouji/r07/r07hansen/>



📱こちらから
ご覧ください。

申込不要

無料

パネル展示「ハンセン病パネル展」

- 内 容：ハンセン病問題についての概要、ハンセン病Q&A等
- 展示期間：令和7年6月21日（土曜日）から6月25日（水曜日）まで
- 場 所：都庁第一本庁舎 1階中央部アートワーク台座



【問合せ先】東京都健康安全研究センター企画調整部健康危機管理情報課
電話 03-5937-1089

裏面も
ご覧ください

●オンライン講演会「ハンセン病問題を知っていますか」 講演動画のご紹介



1 ハンセン病とは (3分40秒)

ハンセン病がどのような病気なのか、初期の症状、薬が開発された歴史、現在では治る病気であることなどについて解説します。



2 日本におけるハンセン病政策

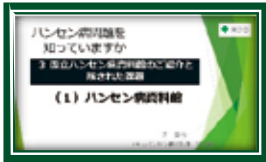
(1) 隔離政策と人権問題 (6分)

日本におけるハンセン病政策の歴史について紹介します。国の患者隔離政策は、人権問題へと発展していきました。



(2) 名誉回復への道 (5分30秒)

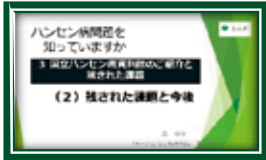
患者を社会から排除した歴史と、その責任を求めた裁判について解説します。



3 国立ハンセン病資料館のご紹介と残された課題

(1) ハンセン病資料館 (3分50秒)

国立ハンセン病資料館は患者・回復者とその家族の名誉回復を図るため、偏見・差別の解消に取り組んでいます。各展示室を案内します。



(2) 残された課題と今後 (3分40秒)

ハンセン病回復者家族の声を通して、残された課題について解説します。

●表面の掲載写真の解説 (資料提供：国立ハンセン病資料館)

全生病院の収容門 全生病院（現 多磨全生園）大正期



患者は、職員が出入りする正門とは別に設けられた収容門から敷地内に入りました。写真は収容直後の様子です。患者が持ってきた荷物を点検する職員も写っています。

園内通用券 多磨全生園



患者の逃走を防ぐなどの目的で、それぞれの療養所内でしか通用しない「お金」が使われていました。

ハンセン病家族訴訟の熊本地裁前での勝訴発表 2019（令和元）年



国の隔離政策の下では、患者・回復者の家族もまた差別・偏見にさらされました。さらに家族関係の形成も阻害されました。

その被害に対する謝罪と補償を求めて、2016(平成28)年に回復者の家族561人が原告となって始まった裁判は、2019(令和元)年6月28日の一審判決で原告が勝訴しました。国は控訴を断念して、判決が確定しました。

●国立ハンセン病資料館のご紹介

東京都東村山市にある国立ハンセン病資料館では、証言映像コーナーなど、各種展示等によりハンセン病問題をわかりやすく解説しています。

【国立ハンセン病資料館ホームページ】 <https://www.nhdm.jp/>

